

平成24年度第1回公立大学法人熊本県立大学理事会
議事録

日時：平成24年6月27日（水）午前10時00分～午前11時40分

場所：公立大学法人熊本県立大学大会議室

出席：副理事長（学長） 古賀 実
 理事（副学長） 半藤英明
 理事（事務局長） 益田和弘
 理事 小栗宏夫
 監事 樋口信夫

欠席：理事長 五百旗頭 真
 監事 清水谷洋樹

事務局：田代事務局次長、元島教務入試課長、福永総務課長、安達学生支援課長、阪本企画調整室長、前田地域連携センター事務長、田中学術情報メディアセンター事務長、川上総務課総務班長、浅川総務課財務班長、北島企画調整室主幹

1 開会（進行：田代事務局次長）

田代事務局次長より「五百旗頭理事長が体調不良のため、理事会運営規程により古賀副理事長が議長である理事長の職を代理して議事を進行する。」との説明があった。

2 副理事長あいさつ

3 議題（議長：古賀副理事長）

（1）審議事項

①、② 平成23年度業務実績報告書について及び第1期中期目標に係る業務実績報告書について

事務局から、資料1-3「平成23年度業務実績報告書」について自己評価がB評価となった項目を中心に説明があった。

続けて、資料2-2「第1期中期目標期間に係る業務実績報告書」について、全体の状況、B評価となった項目について第2期中期計画への繋がりについても触れながら、説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

③ 平成23年度決算について

事務局から、資料3-1「平成23年度決算の概要」に基づき、「6月12日に行われた監事監査は無事に終了。また、今年度は、平成18年度から平成23年度に係る第1期中期目標期間での積立金の処分について、6カ年の期間が終了し、最終的な積立金として256,272千円を繰越金として次期中期計画に繰り越すことについて、設立団体である熊本県に対して繰越申請を行う予定である。」との説明があった。また、樋口監事から、監査結果について、「6月12日に清水谷監事と監査を行った結果、特に問題ないということで、監査報告書を作成し提出した。」との報告があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

④ 教員採用に係る枠取りについて

古賀学長から、資料４－１～４に基づき、「環境共生学部２件と総合管理学部２件の計４件の枠取りであり、環境共生学部の地域計画学については、定年退職者の補充のためであり、昨年度公募したが教授で大学院指導もできるというようにハードルが高かったことから人選が進まなかった。学科で体制を整え、今回、若手の教員にまで枠を広げたもの。次に公衆栄養学については、管理栄養士養成施設として厚生労働省から求められている重要な科目。今まで特任教授にお願いしていた部分について公衆栄養学を中心に募集するもの。総合管理学部については、社会調査士の資格認定に必要となる計量経済学について若手の教員を募集するもの。次に、マーケティング論については、実務経験者である前任者の転出に伴い募集するもの。採用については、何れも平成２５年４月１日を予定。理事会で承認された後、各学部で早急に採用人事を進めていく。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

(２) 報告事項

① 平成２５年度入学者選抜の実施方針について

事務局から、資料５に基づき、「特別選抜については、昨年度からの変更点は環境資源学科の推薦入試に関してのみ。対象者を県内の高等学校の卒業見込み者のみとしていたものを全国に広げ、募集人員を３名から５名に増員。但しうち少なくとも３名は県内の高等学校卒業見込み者とする。また、農業、林業、水産科推薦入試を新設する。自己推薦型入試については、環境資源学科の同入試を廃止する。最後に一般入試については、英語英米文学科の前期日程と後期日程との募集人員の割合を変えるとともに、環境資源学科については、自己推薦型入試の廃止に伴い募集人員を２名増とした。また、大学院については今年度から環境共生学研究所、アドミニストレーション研究科において秋季入学の募集を行う。」との報告があった。

② 平成２４年度入学者の状況について

事務局から、資料６に基づき、「学部入学者の状況は、定員４８０名に対し５１７名が入学、男性は３１．５％の１６３名、県内生は７６．８％の３９７名、現役生は９０．７％の４６９名となっている。定員充足率は全体としては１０７．７％であり、理想的な数値となっている。県内高校別入学者数では、例年入学者の多い上位５校くらいまでは、順位の変動はあるが顔ぶれは変わっていない。県外の高校では鹿児島県からの志願者が増加している。新幹線の効果とも考えられる。大学院の入学状況については、全体の定員充足率は８３．６％となっている」との報告があった。

③ 平成２４年３月卒業生の就職等状況について

事務局から、資料７に基づき、「学部について、平成２３年度の卒業生の全体の就職率は前年度を１．８ポイント上回る８９．９％となっており、非常に厳しい状況だった平成２２年度、平成２１年度の数値と比較すると、少しだけ上向きになっ

てきているという印象。公務員については84名が希望し54名が決定。また、教員については、15名が希望し、公立が1名、私立が7名で計8名が決定している。また、大学院修了者については、企業、大学などに就職している。」との報告があった。

4 その他

次回理事会は、平成24年10月23日（火）（経営会議終了後、引き続き）に開催することを確認した。

5 閉会

以上